

会 議 録

(11-1)

会議の名称		令和6年度 第3回 幸松市民センター地域づくり推進会議					
開催日時		令和6年12月18日(水曜日)	<table border="1"> <tr> <td>開 会</td> <td>午前10時00分</td> </tr> <tr> <td>閉 会</td> <td>午前11時45分</td> </tr> </table>	開 会	午前10時00分	閉 会	午前11時45分
開 会	午前10時00分						
閉 会	午前11時45分						
開催場所		幸松市民センター2階 研修室A・B					
議長(会長等)氏名		会長 鈴木 敏 仁					
出席者	委員氏名	(出席人数：10人)					
		鈴木敏仁、菱沼和保、岡田友宏、高崎光英、市川大倫、					
		中野貴子、山下寿美、高橋るり子、鈴木淳子、高橋りん					
	説明者その他	(出席人数：5人)					
		岩谷市長、飯口市民生活部長、矢野市民生活部参事、 大橋市民生活部担当課長、吉田幸松市民センター長					
	事務局	(出席人数：2人)					
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		次第 1 開会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 協議結果の報告 ～より魅力的な“幸松”にしていくために～ 5 意見交換 (1) 幸松市民センターの運営について (2) その他 6 市長コメント 7 閉会					
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第3条第1号該当： ☐ 要綱第3条第2号該当： ☐ 要綱第3条第3号該当： ☐ 要綱第3条第4号該当：					
配布資料		資料 より魅力的な“幸松”にしていくために (第1回会議及び第2回会議における協議結果概要)					
会議録の作成方法		☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録					
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長が行うものとする。ただし、会長が不在その他の理由によりやむを得ないと認められる場合は、副会長又は事前に会長から指名された委員が署名を代行できるものとする。					

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局 会長 市長 会長	1 開 会 会議をすべて公開する旨の報告 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 協議結果の報告 ～ より魅力的な“幸松”にしていくために ～ 幸松市民センター地域づくり推進会議会長の鈴木敏仁でございます。 本日は、これまで、この会議の中で話し合ってきた内容について、会を代表し私から報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。 なお、お手元に、これから申し上げる内容を、まとめた資料を用意いたしましたので、ご参照のうえ、お聞きいただければ幸いです。 はじめに、会議の開催状況等について申し上げます。資料の表紙をご覧ください。 私たちは、令和6年7月5日付けで、「幸松市民センター地域づくり推進会議委員」の選任書をいただきました。そして、7月31日（水曜日）に1回目の会議を、10月4日（金曜日）に2回目の会議を開催し、委員同士で様々な意見交換を重ねてまいりました。 7月31日の第1回会議では、協議に先立ちまして、センター長より、今年の4月から「幸松地区公民館」が、総称として幸松市民センターになった経緯や、新たに設けられた「4つの機能」について、また、「幸松市民センター地域づくり推進会議」とは、どのようなことを話し合う会議なのか等について、説明を受けました。 その後、今後のスケジュールや会議の進め方を確認したうえで、幸松地区の「魅力」や「課題」について、委員同士で意見交換を行ったところでございます。 会議終了後には、各委員に用紙を配布いたしまして、1か月程度の期間を設けて、改めてご自分の意見をご提出いただくよう依頼いたしました。 そして、提出されたご意見を、幸松市民センターでとりまとめ、第2回会議の資料としていただきました。 さて、そのような形で、多くの貴重なご意見を頂戴したわけですが、これを受けまして、10月4日に開催した第2回会議では、会としての意見集約を行いました。 進め方といたしましては、同じような意見を集約し、さらに追加すべき項目がないか等についての協議を行いながら、会としての意見をまとめていきました。 なお、まとまりました意見については、このあと、順次、報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。 前置きが長くなりましたが、それではこれより本題に移りたいと思います。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	資料を開いていただき、見開き部分をご覧ください。 はじめに、資料の左上をご覧ください。「幸松ってどんなところ？」と見出しをつけておりますが、ここでは3項目にわたって、「幸松地区の現状」について話し合いを行いました。 1番では、「幸松地区の「魅力」は何ですか。」との設問に対し、会としては、 (1) 自然が豊かである。 (2) 歴史と伝統がある。 (3) 学校が充実した文教地区である。という形でまとめました。 特に、(1)の「自然が豊かである。」につきましては、清らかに流れる河川、緑あふれる公園、四季折々の花々など、豊かな自然が幸松の大きな魅力の一つであるというご意見が、多くの委員から寄せられたところでございます。 次に2番として、「幸松地区が以前と比べて良くなったと思うことは何ですか。」との設問に対しては、 (1) 春日部第一児童センター（エンゼルドーム）ができたこと。 (2) 住宅が増えて街が活性化してきたこと。 (3) 大型商業施設ができて、公共交通（バス）が充実したこと。 となりました。 特にエンゼルドームができたことで、地域の中に子供たちの笑顔があふれ、まち全体に活気が出てきたとのご意見を多くいただいたところでございます。 次に3番として「幸松地区の「課題」は何だと思えますか。」との設問では、 (1) 情報発信が足りない。 (2) 旧住民と新住民の融合が図られていない。 (3) 地域コミュニティが希薄である。 (4) 防災・防犯への取り組み。 (5) 高齢単身世帯への対応。 という結論に達しました。 ここでは各委員の中でさまざまな意見が出されましたが、傾向として、道路整備や施設整備等のハード面というよりは、日頃感じている人間関係や、防災・防犯への取り組みなどに関するご意見を多くいただいたところでございます。 以上「幸松地区の現状」について申し上げてまいりましたが、続きまして「幸松地域の活性化に向けて」報告させていただきます。 まず、4番の「地域コミュニティを活性化するためには何が有効だと思えますか。」との設問では、 (1) 様々な活動についての情報発信。 (2) イベントの開催。 (3) 自治会だけではなく、学校や様々な団体との連携により課題に取り組む。 という内容でまとめました。 また、5番の「今後、幸松地区をより良い地域にしていくためには何が必要だと思えますか。」との設問では、

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	(1) スーパー、商業施設の誘致等による利便性の向上。 (2) 市民センターが中心となって、地区イベントなどを情報発信していく。 (3) 様々な人々の居場所づくり。 (4) 児童・生徒によるふれあい訪問等（学校との連携）となりました。 さらに、6 番の「そのために自分たち（地域）でできる取り組みがあれば教えてください。」との設問では、 (1) SNS による情報発信。 (2) 住民同士の交流の活性化。 (3) 学校との連携（ふれあい訪問、お手伝い等）。 という結論に達したところでございます。 そして、これら 3 項目から導き出された方向性といしまして、資料の右下に記載のとおり、幸松地域で活動する一人ひとりが、さまざまなチャンネルを使って、幸松の魅力を発信しよう！地元のイベントを通して、交流や連携を増やしていこう！という言葉で、まとめたところでございます。 これは、4 番、5 番、6 番で共通したフレーズが「情報発信」と「連携」であったこと。 また、これらの必要性は、3 番の「課題」にも上がっていたこと。 以上の理由により、これからの地域づくりにおいて欠かすことのできない視点ではないかと考えたところです。 今後、幸松で活動されている方々が、高い意識をもって、これらを実践していくことで、より魅力的な地域づくりにつながれば幸いであると感じているところでございます。 以上 6 項目にわたりまして会としての意見を申し上げてまいりましたが、もう一点、資料の裏面に 7 番として「市民センターのあり方について」も、委員の皆さんからご意見をいただきました。資料の裏面をご覧ください。 主な意見は、資料に記載のとおり、 ① 市民センターの事業概要、特に新たに追加された 4 つの機能を周知し、知名度と利用者を増やしていくべき。 ② 受け身ではなく、積極的なイベント企画などの情報発信を。 ③ コーディネート役をお願いしたい。 とのことでございましたが、その中で、①にございます、市民センターに新たに追加された 4 つの機能については、利用者の皆様等から、いくつか課題が寄せられているようでございます。 そのため、この発表の後、委員の皆さんから、これらの課題についてのご意見やご感想をいただいてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 説明は、以上となります。 結びに、これまで、約半年の期間ではございましたが、会議の運営にご協力をいただくとともに、多くの貴重なご意見を頂戴した委員の皆さんに心から感謝とお礼を申し上げますとともに、岩谷市長はじめ、市の執行部の皆様におかれましては、今後とも幸松地域の発展に向けて、ご指導及びご支援を心よりお願い申し上げ、私からの報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	ありがとうございました。 なお、ただいまのご報告を受けまして、ここからの進行につきましては、「春日部市市民センター地域づくり推進会議要綱」第6条第2項の規定により、会長が会議の議長になると規定されておりますので、鈴木会長にお願いしたいと存じます。 鈴木会長、よろしくお願いいたします。
議 長	5 意見交換 (1) 幸松市民センターの運営について 次第の5番、意見交換に移りたいと思います。 ・ 地域のまちづくりの拠点としての機能について ・ 防災・防犯の拠点としての機能について ・ こどもの居場所づくりとしての機能について ・ 各種証明書発行の機能について、 という4つの機能について、ご意見ご感想をお願いします。 進め方としては1項目ずつ議題とし、ご意見ご感想があれば挙手にてお願いしたいと思います。そのような進め方でいかがでしょうか。
各委員	異議なし
議 長	はじめに、地域のまちづくりの拠点としての機能について、この項目では、課題が2つ示されておりますが、こちらについてご意見、ご感想がある方は、挙手をお願いいたします。
委 員	今後の取り組みとして、具体的に何をしていくのか、センターとしての進め方等について考え方を伺いたい。
事務局	今回の会議については、試行的な取り組みの中でご意見をいただきました。 具体的な取り組みについてということですが、今後皆様からのご意見を市政に反映していくにはどうしたらよいかを検討していきたいと思えます。
議 長	次に、防災・防犯の拠点としての機能について、この項目では、課題が1つ示されておりますが、こちらについてご意見、ご感想がある方は、挙手をお願いいたします。
委 員	避難所になっているところは他にもあるが、市民センターが中心となって統制をとっていただきたい。
事務局	こちらのセンターは自主避難所にもなっていますので、備蓄等もしています。 市民センターでは12月22日（日）に防災訓練として避難所の開設訓練を予定しています。このような訓練では、有事が発生した時に地域の皆様が困らないようなメニューで実施していきたいと考えています。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	避難所によっては、市の職員が来ないと訓練が実施できないところもある。そのため市民センターが指揮をとっていただきたい。
委 員	避難所は家の近くが原則だと思う。例えば学校に避難するとなった時には、職員がいないと避難することができない。そのため、条件面でいうと市の職員がいる市民センターの方が良いと思うが、被害の状況によつては収容しきれない場合も想定されるため、どこを避難所にするかは、難しい問題であると思う。
事務局	避難所については、市の方で危機管理防災課という組織がある。そちらの方でとりまとめを行っていますので、いただいたご意見については伝えてまいりたいと思いますが、施設の鍵については、近隣に住む職員が夜間等についても対応できる体制をとっております。
委 員	春日部の自主避難所は、どの地区はどこに行きなさいという指定はされていない。地域内に避難所があるところは良いが、避難所から離れているところは、地区の住民があちらこちらに行ってしまうので、自治会長としてまったく統制がとれない。そのため私のところは、一時（いつとき）避難場所として、まずはここに避難するというのを周知した。まずは一番近いところに避難する、地区でまとまるということが大切であると考えてる。
委 員	この地区の避難場所はどこですよという指示が行き届いていないと思う。災害の規模によって学校に行くとか、要配慮者を振り分けるのは、その後も良いと思う。まずはまとめることが重要であると考えてる。今回の防災訓練でもその辺の話を周知していきたい。
委 員	地区内の企業で働いている場合、地区に指定されている避難所は、地域住民は受け入れても、それ以外の人（当該企業で働いている人等）は受け入れてもらえないのではないかという不安がある。住民ではなくそこで働いている人も受け入れてもらえると考えてよいか。
委 員	受け入れないということはない。安心して避難してきていただきたい。
委 員	小湊地区では、地元の企業と連携して対応するため、協定を結んでいる。
委 員	災害が起きた場合、人、もの、金が必要になってくる。そのうち、「もの」については、大きな災害が起きたら３日間は、住民同士で助け合いをしながら自分たちで何とかしなければならない。その３日間をどう過ごすかということが一番の課題になってくると思う。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	学校も組織をしっかりと作って確認をし合っている。また備蓄品も定期的に点検してもらって、ある程度の量は確保されているようだが、情報が必要になってくると思う。そのため市民センターには情報をつなぐ場所であってほしい。また、日頃から防災、防犯についての情報発信を行ってほしい。
市 長	防犯についてもご意見をお願いしたい。
委 員	防犯については、警察と市民センターが連携して情報共有を図っていただきたい。
事務局	交番の方から、交番だより等を通して様々な情報をいただいております。そういった情報共有を図りながら、連携に努めていきたいと思っています。
委 員	交番に対しても、市民センターとよく連携を図っていただきたいということをお伝えして良いか。
事務局	はい、よろしく願いいたします。
事務局	防犯については、市ではくらしの安全課で所管しています。防犯については、各地区でいろいろな事案がありますので、交番ではその辺の周知をしていきたいという意向もありますので、市としては、その周知を図っていききたいと思います。
委 員	警察からの情報については、毎日のように携帯に情報が流れている。あれは、みんなの携帯にも届いているのか。
事務局	安心安全メールについては、登録をいただくことでご利用いただいています。 市民センターでは、登録のお手伝い等もさせていただいています。
委 員	情報は発信されていても、それを取得する方法がわからない人もいます。
事務局	そういう人のために、市民センターではスマホ教室等を開催し対応しています。申し込み開始後あっという間に一杯になりました。
委 員	オンラインで講座を開催していただけないか。
委 員	防犯については、自分だけで抱えてしまうことが一番良くないと思う。闇バイトに関しても判別が難しい。これらの情報はパッと見では悪い情報なのかどうか区別がつかない。 学校ではＳＮＳの使い方等について指導されていると思うが、市民センターでも詐欺防止等について情報提供をお願いしたい。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	今、小学生6年生では4割の子どもたちが携帯を手に入れているという状況にあって、中学生になるとほとんどの生徒がスマホを手に入れているので、その使い方は、大人が管理してあげないといけない。子どもは何も考えないでSNSで写真を流してしまうこともある。学校現場ではSNSの使い方等について、こういうことに気をつけようということで、生徒指導に関わる資料を作って、地区内の中学校区域内で共有して配ろうということで動いている。 しかし、親御さんは子どもには直接注意しづらいという方もいるので、公民館等と連携して取り組めたら良いと思っている。
議 長	次に、こどもの居場所づくりとしての機能について、この項目では、課題が1つ示されておりますが、こちらについてご意見、ご感想がある方は、挙手をお願いいたします。
委 員	幸松市民センターでは、子どもの遊び場の利用が他の市民センターに比べて極端に少ないが、遊び場としてどんなスペースを開放しているのか。
事務局	遊び場のスペースについては、第2次抽選が終わった段階で空いている部屋を活用するということで、基本的にはプレイルームや和室等、自由に動ける場所を開放している。
委 員	子どもたちには、自由に体を動かせるスペースが良いと考えている。今、エンゼルドームも空調工事が始まり、施設利用を制限せざるを得ない状況にあるので、市民センターを利用させていただけるとありがたい。 今年度は、公民館まつりにも参加させていただいたが、今後とも連携をお願いしたい。
委 員	子どもの遊び場ということでは、市民センターとエンゼルドームが非常に近いということがあると思う。だから他の市民センターとの比較では利用率が低くなっていると思う。子どもたちにとってみれば、ここで遊ぶよりエンゼルドームで遊ぶ方が過ごしやすいのだろう。
事務局	豊春地区については、クラス単位で申し合わせて来るという話も聞いています。 遊び場としては豊春市民センターが一番多くなっていますが、学習スペースの利用については、こちらの幸松市民センターもかなり多くなっており、夕方になるとほとんど席が埋まっている状況です。地域ごとにロケーションの違いもあるのかなと考えています。
委 員	これまでの利用状況は、市としてどのように分析しているか。多いと考えているか、少ないと考えているか。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	子どもの居場所づくりについては、各地区で差が出ると考えていました。 学習スペースについては良く活用されていると考えています。遊び場スペースについても子ども、特に低学年の行動範囲や利用時間など制限が多い中、豊春等は非常に多く利用されていると考えています。
議 長	次に、各種証明書発行の機能について、この項目では課題が2つ示されておりますが、こちらについてご意見、ご感想がある方は、挙手をお願いいたします。
委 員	今、証明書はマイナンバーカードを持っていれば10円で取得できるが、今後はどのようなになるのか。
事務局	コンビニ交付については令和7年3月31日までは10円で取得できます。 その後は200円に戻る予定でしたが、条例改正によりその後1年間に限り、マイナンバーカードの利用により100円となります。
委 員	市役所の窓口ではいくらか。
事務局	300円です。
委 員	春日部市におけるマイナンバーの普及率はどのくらいか。
市 長	約75パーセントです。
議 長	委員の皆さんにおかれましては、ご協力いただき、ありがとうございました。 (2)その他で、委員の皆様から何かありますか。
各委員	なし
議 長	特にないようですので、次に岩谷市長から、先ほど申し上げた協議結果の報告、あるいは、ただいまの意見交換等等につきまして、コメントをお願いいたします。
市 長	今日は、皆様からのご意見を直接伺うことができました。心より感謝申し上げます。 今日感じたことをいくつか申し上げたいと思います。 防災については、これまでのご意見を拝聴して、大変皆様の意識が高いなと感じました。 春日部市では、非常にありがたいことに、すべての自治会が自主防災組織をもっています。そして防災訓練も必ず1年に1回以上は実施していただいています。 あとは自治会に入っていない方への対応、こういったことも市民センターの課題であろうと思います。逆に言うと自治会への入会を促すきっかけにもしていただければと考えています。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	それから、企業にお勤めの方の避難所のあり方ですが、今までこういう視点はありませんでしたので、大変参考になりました。 ちなみに東日本大震災が起こった日は駅が渋滞しました。春日部駅がシャットアウトされ、駅前に人があふれたため、近隣の公民館で分散して受け入れを行いました。 それから、一時（いつとき）避難所の考え方も大変素晴らしいと感じました。集約されていない地域においては、大変有効な手段であると感じました。 避難所というのは、刻々と変わっていきます。だんだん少なくなっていくんです。だからこそ地域の方がまとめることは非常に有効であると感じたところですよ。 それから、自治会と企業が連携していることも大変すばらしいと感じました。この取り組みは、豊野地域などでも見られますが、他の地域にも広げていきたいと思いました。 次に、学校からもご意見をいただきましたが、闇バイトについて、非常に大きい問題であると考えています。 テレビにもよく出演されている佐々木成三さんの講演を2回ほど聴きましたが、その中で、今の子どもは縦の関係がなく、横の関係しかないということです。しかもSNSでつながっているから、あっという間に広がり、みんなでやってしまえば大丈夫となり、やってしまうのだそうです。大人に聞けばそんなことはありえないとなるのですが、縦の関係がないので、誰からも止められないのだそうです。 自治会も同様ですが、自治会も後継者が育成されていません。地域でもリーダーを育成していく必要があると考えています。そのような形の中で、縦の関係を作っていただければと考えています。 それから、警察との連携も非常に意義のあることだと思いますし、交番の方との交流、連携などもお願いしたいと思います。 さて、今日の会議で最大のポイントは情報の共有でございます。私もSNSを駆使しており、フェイスブック等いろいろやっていますが、春日部市のラインに登録いただくと、毎日情報が送られてきます。 今、市長を本部長とするDX推進会議というものが若手中心で行われております。その中で、市民は今コミュニケーションツールで何が一番使われているかを調べたところ、ダントツでラインだそうです。今、指示を出していますが、来年度に向けて和光市を参考に、ラインポータルにしようと考えています。 ラインだったら友だちを登録するだけで、決して難しいことはありません。そしてその中で、子育て等、興味にあるものをクリックしていただければと思っています。 これができれば、情報発信、情報共有等が進められるかなと考えております。 次に、子どもの居場所づくりですが、エンゼルドームについては、大変ご迷惑をおかけし、申し訳ありません。現在全面改修中ということで、しばらくお待ちいただきたいと思います。まだまだ市民センターがいろいろな機能を持っていることが知られていないということがよくわかりましたので、いろいろな形で情報を発信していきたいと思っております。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	今、豊野地区では独自の情報誌が全戸配布されました。地域の連携を図るという意味では非常に有効であると考えております。 それから、こちらの会議ですが、来年度また新たな形で行うことも検討しておりますので、またご協力をお願いしたいと思います。 最後に、人間が一番幸せを感じるのは、より良い人間関係が形成されているときだそうです。親との関係、家族、友達、そして地域。これがないから幸せを感じられない。そういったことから、これからは子どもの居場所づくりだけではなく、大人の居場所づくりも作っていくことは、とても大切だなと思っています。ぜひともコミュニティを復活させていただいて盛り上げていただければと考えております。 私は、なるべくネガティブなことは言わないように気をつけております。ぜひ皆さんもお互いの意見を一度受け止めていただき、そこから一歩踏み出す。それが育成にもつながると思いますので、是非よろしくお願いいたします。 長くなりましたが、皆様からのご意見に感謝を申し上げ、皆様のご健勝、ご多幸をお祈りし、コメントとさせていただきます。本日は、ありがとうございました。
議 長	ありがとうございました。 それでは、以上で、本日の議事はすべて終了いたしましたので、これを持ちまして、 本日の議長の職を降ろさせていただき、進行を事務局にお返しいたします。 皆様のご協力、ありがとうございました。
事務局	鈴木会長、議事進行、ありがとうございました。 委員の皆様におかれましても、長時間にわたるご協議、誠にありがとうございました。 それでは、以上を持ちまして、令和 6 年度 第 3 回 幸松市民センター地域づくり推進会議を閉会とさせていただきます。
議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 6 年 1 2 月 2 4 日 署名者の職・氏名 会長 鈴木 敏仁	